

サンディエゴ州立大学（アメリカ）

授業も終了し、残すは最終課題やテストだけとなりました。今学期は、ブロックチェーンやデータベースなどあまり親しみのなかった分野に関する授業をとることで、自分の知識の幅を広げることを目標にしていました。まだまだ知識が浅いところがありますが、自身の興味を広げる良い機会になりました。

キール大学（イギリス）

4月13・14日に開催されたロンドンキャリアフォーラムに参加してきました。多くの25卒は事前応募をしてイベント中は選考が進行中の企業との面接を行うというのが一般的なケースのようでしたが、私は雰囲気をつかむということを目的としていたため事前応募はせずに行きました。事前のセミナーで会場内は独特の雰囲気があるという説明を受けていたのでどんなものなのかと思っていましたが、想像以上に独特の雰囲気が漂っていて、その場にいるだけでも疲労困憊でした。様々な企業の説明会を聞くことで自身の興味と合っているかどうかを少しずつすり合わせていくことができたような気がします。帰国後すぐにはこのイベントの東京バージョンが開催されるため、本選考の情報と並行しながらこちらの準備も進めていきたいです。

長庚大学（台湾）

中間考査準備期間ということもあり、今月は前期から参加しているコーヒークラブの活動があまり行われませんでした。課外活動は台湾の学生と交流できる貴重な機会でもあるため、毎回の参加を楽しみにしています。コーヒークラブ内では前期からプライベートでも遊ぶ中の良い友人が数人いましたが、今学期になってさらに多くの交友関係を広げることができており、とても充実しています。また、今学期から新たにフランスからの留学生も長庚大学に来ており、最近是一緒に外食をすることも多く、友好を深めることができています。今までフランス出身の友人がいなかったため、文化や価値観の違いなどについて興味深い話ができています。留学を通して、出身や国籍、宗教などに関わらず多様な背景を持つ友人を持つことができたのは、大きな収穫の一つだと考えます。日本では日本人以外と関わる機会が限られていたため、この出会いを大切にしていきたいです。残された時間はわずかとなってしまいましたが、台湾を離れて気軽に会えなくなってしまう前に、できるだけ多くの友人と思い出を作っていきたいです。

淑明女子大学校（韓国）

<中間考査>

今回は試験が3つ、レポートが1つでした。試験は韓国語、韓国文化、Movie Englishの3つです。韓国語は授業の内容をしっかり復習していたので、よく出来たと思います。Movie Englishは英語で1ページ以上のエッセイを1時間で書く試験でした。映画の内容を抑え、活用しながら自分の意見を書いていかなければいけなかったのが、少し大変でしたが、ある程度納得のいく回答ができたと思います。韓国文化の試験は、個人的には一番難しかったです。自国の文化と韓国の文化の違いを見つけ、それぞれの特徴を掴むのは簡単なようで難しいなと感じました。今回一番大変だったのがレポートの作成です。日韓関係の講義を韓国語で受講しているのですが、レポートで自分が言いたいことを韓国語で書くことが本当に大変でした。日韓の歴史問題に関する教育内容の違いをまとめ、なぜ歴史認識に違いが生じているのかについて書きました。今後の卒論、ゼミ論にもつながる内容だったのでなんとか今回完成させることができてよかったなと思います。

ヤゲウォー大学（ポーランド）

4月はどの授業にも中間試験やそれに準ずる課題などの期日が重なったこともあって、先月に引き続き忙しい月だった。まとめたノートや配布されていたプレゼンテーションなどを利用した自己学習だけでなく、新しく知り合った同じ授業の学生と集まって行う勉強会なども利用したので、以前よりも効率的に勉学に励むことができたように思う。そろそろ帰国の時期も近づいてきたので、今後より一層ポーランドでしかできないことを体験できるよう動きたいと思う。

ゲーテ大学（ドイツ）

ドイツにはDチケットというものがあります。ドイツ国内全域の快速・普通列車（RE・BE）が毎月一定額を払えば乗り放題というものです。ICE等は乗れません。

ゲーテ大学の学生は、毎学期の初めにセメスターチケット費用を支払い、このDチケットと同じものを獲得することができます。

このセメスターチケットの仕様がちょうど私の留学期間中に制度が変わったせいか、冬学期と夏学期で異なりました。

冬学期：セメスターチケット（ヘッセン州のみ乗り放題）が学生証に印字され、毎月＋10€を支払えばオンライン上の申請でセメスターチケット（ドイツ国内全域乗り放題）が獲得できる。

夏学期：オンライン上の申請でセメスターチケット（ドイツ国内全域乗り放題）が獲得できる。

おそらく今後の留学生の方は後者の仕様でセメスターチケットを獲得し、ドイツ国内全域を追加料金なしで旅行することができます。

私は最初の半年間セメスターチケットの使い方が分からなかったという理由から、ドイツ国内の旅行をしていませんでした。しかし夏学期に入り、セメスターチケットの使い方が分かってから、休日時間があれば毎回10時間以上電車で移動しながらドイツ各地を巡っています。現在の目標はドイツの世界遺産51種類制覇で、3月末~4月末の1ヶ月間で30種類制覇できました。

このDチケットの制度は人によってはかなり魅力的に思えると思います。費用をあまり考えず、留学先の旅を通して異文化を学びたい方にドイツはおすすめです。旅を通して関心の幅が広がりましたし、現地の友達との話題に困らないです。

チケットの使い方は簡単で、オンライン上で発見したQRコードをコントローラーに見せるだけです。コントローラーは電車内チケット確認をしている職員の方で、チケットを持っていないとチケット代以上の多額の罰金が課せられます。

ベネチア大学（イタリア）

ベネチア近くのバレーボールコミュニティに参加しました。クラブとまでは行かないまでも、正式な手続きを踏んでの参加ではなかったので、それをコミュニティと表現することにしました。そこでは、高校生から50代まで様々な年齢層のイタリア人が集まっており、異国人の私も心温かく迎えてくれました。週に1回、楽しくバレーボールを楽しんでいるのですが、ある休みの日にはトーナメントのようなイベントが開催されました。全10チームほどが参加し、私は高校生中心のチームに参加することになりました。地元の高校生が集まっているような雰囲気、幸いにも英語を話せる人がいて、なんとかコミュニケーションが取ることができました。試合では言語の壁を超えてプレイによる意思疎通ができ、スポーツの素晴らしさを感じました。結果は下から2番目で、良い成績とは言えませんでした。楽しい時間を過ごせたので、それほど気にしませんでした。決勝戦ではデュースまで持ち込むほどの接戦が繰り広げられ、会場全体が熱気に包まれるほど、全員が手に汗握って応援していた様子がとても印象的でした。